

学校だより

学校評価臨時号

令和2年2月28日 発行
新潟県立高田特別支援学校
上越市寺町1-15-44
電話 (025) 524-6461

学校評価（年間）アンケートの結果をお伝えします

11月末に実施しました学校評価（年間）アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

学部・寄宿舎の取組状況及び学校全体の状況についてご意見いただきましたアンケート、及び職員のアンケートの結果を受け、職員で検討し、それぞれ「よい点」、「要望や改善すべき点」についてまとめました。扨格

学校全体の取組

<よい点>

- 98～99%の保護者が、子どもが楽しく充実した学校生活を送っている、本校に入学させて良かったと感じている点。
- 一部の授業や学習発表会で、学部間での交流が行われている点。小中高のつながりを意識した学習を行い、成果が見られた。学部間の連続性や一貫性のある指導が有効であることが分かった。
- 学校は、「いじめを許さない」意識を高め、お互いを尊重し合う人間関係の構築、いつでも相談できる体制の整備等、いじめを未然に防ぐ取組を行っている点。また、93%の保護者も、学校は、いじめのない学校づくりに取り組んでいると感じている。

<要望や改善点>

- △新学習指導要領の実施に向けた取組について。
→キャリア教育を中核とした一貫性のある指導を目指し、主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善、地域との連携や交流、学部間連携などを一層推進していく。
- △エアコンの増設や駐車場の混雑緩和、施設、設備の改善、充実について。
→引き続き、県への予算要望を行い、年次計画で改善を図るよう努める。
- △学校職員の働き方改革の推進について。
→業務改善、一部負担軽減を行うことに伴い、保護者の皆様のご理解とご協力をいただきたい。

小学部

<よい点>

- 子供一人一人に合わせた支援や教材の工夫をしている点。
- 朝の挨拶を中心に、発語がない子供はお辞儀等で、また、語頭を言って気付きを促すなど行い、個々の目標とする姿で挨拶ができるようになってきている点。
- 学年を越えて遊ぶ姿が見られる点。また、情報共有を大切にし、職員全員が学部の子供たちの指導に関わっている点。

<要望や改善点>

- △個別学習の内容が、どの程度できるようになっているか知りたい。
→日頃から、様々な学習場面の様子を連絡帳などで伝えていく。
- △PTAや保健給食部主催の、子供たちの将来を見据えた講演会や見学等への保護者の参加が少ない。
→小学部の段階から将来の生活を想像していただけるように、声掛けをしていく。

中 学 部

<よい点>

- 挨拶やルール、人との関わり方について、繰り返しの指導（見通しがもてるような支援、視覚支援、教師からのみではなく仲間同士の認め合い等）、学部職員の一貫した対応での指導が成果を上げている点。
- 学校での有効な支援をご家庭と情報共有（連絡帳、たより、個別懇談、計画相談等）したところ、ご家庭でも取り組んでもらえるようになった点。
- 学校と寄宿舎が密に連携をとりながら、同一歩調で生徒の指導にあたっている点。

<要望や改善点>

- △生徒の引継ぎについて。
 - 新しい学校、学部、学年になる際に、生活全般についての担任から担任への細かい引継ぎ、学習実態チェック表等を使っての教科の引継ぎをしている。また、必要に応じて適宜引継ぎをしている。生徒の実態把握を確実にいき、目標設定をして、さらに力を伸ばしていくことができるよう努める。
- △報連相（報告・連絡・相談）の徹底について。
 - 学部朝会、学年部会、学部会のみならず、常に生徒の状況を共有していく。課題の解決だけでなく、成果を共有していく。

高 等 部

<よい点>

- 地域や社会、日常生活で使える力の育成をめざした授業を行っている点。
 - 課題設定→具体的な場面の設定→支援方法・用具の工夫→充実感、責任感の醸成
 - ・「生活」「家庭（かてい）」「ヘルシー指導」「ふれあい」「作業」「現場・校内実習」「校外学習」を通して、知識や技能はもちろん、挨拶やルール、人との関わり方などの繰り返し指導や、場に応じた対応を生徒自身や生徒同士でも考えることで、実生活にいきる力が身に付いてきた。
 - ・参観された方々から、挨拶や働く姿勢、作業作品等へ高い評価をいただいた。
- 保護者や寄宿舎、各関係機関と連携している点。
 - ・職員全員で全生徒の自立に向け、保護者や寄宿舎、各関係機関との情報共有や引継ぎができた。

<要望や改善点>

- △登下校時の構内の歩行の仕方について。
 - 冬季通学に向け、学部集会での説明と、学年毎に実際に歩いて練習を行った。

寄 宿 舎

<よい点>

- 集団生活の中で、学部・学年を越えた適切な関わり方を学ぶ機会を工夫している点。
- 全体の日課や、個々の寄宿舎生に合わせた支援ツールを工夫している点。
- 保護者、学部との丁寧な連携、情報共有を心がけ、同じ方向で寄宿舎生を支援することができた点。

<要望や改善点>

- △学校の体育館利用について。
 - 健康で規則正しい生活を送る力を身に付けるため、日々の余暇活動に体育館を利用しているが、棟の状況や寄宿舎生の希望により偏りがあるため、今後は更に積極的に利用していく。

令和元年度学校評価 保護者アンケートの結果（評価点）

◆評価点は、A(そう思う)・B(どちらかと言えばそう思う)・C(どちらかというと思わない)・D(そう思わない)をそれぞれ4点・3点・2点・2点・1点に換算し、その平均を表しています。当校では、評価点が3.5点以上になるよう努めています。

【主に運営活動に関する評価】

	評価項目	A(4点)	B(3点)	C(2点)	D(1点)	回答合計	評価点
目標・方針	①グランドデザインにある教育目標や、学部の目標は、子供の実態や保護者の願いに合ったものである。	81人	50人	2人	0人	133人	3.59
お子さんの様子	②お子さんは楽しく(充実した)学校生活を送っている。	97人	33人	3人	0人	133人	3.71
	③お子さんを本校に入学させて良かった。	111人	21人	0人	1人	133人	3.82
校内連携・一貫性	④学校は、一人一人の将来の生活や小中高のつながりを意識して、適切な目標を立てたり、必要な学習を行ったりしている。	86人	43人	2人	2人	133人	3.60
	⑤学年間や学部間、学校・寄宿舍間で情報が共有され、連続性や一貫性のある指導が行われている。	83人	42人	6人	1人	132人	3.57
専門性向上	⑥職員は、お子さんの障害について理解し、その特性をふまえた適切な指導や支援に努めている。	99人	32人	2人	0人	133人	3.73
地域・外部関係機関との連携	⑦各種たよりや授業・行事参観などにより、学校の取組や子供の様子がよく分かる。	92人	40人	1人	0人	133人	3.68
	⑧学校は、特別支援教育や当校児童生徒への地域の理解を深めるため、広報活動や交流活動等を積極的に行っている。	68人	54人	10人	1人	133人	3.42
	⑨職員は、保護者や地域に対して誠意をもって対応している。	100人	30人	3人	0人	133人	3.73
施設・設備	⑩学校の施設や設備などの教育環境は、よく整えられている。	71人	45人	2人	0人	118人	3.58
いじめ対応	⑪学校は、いじめのない学校づくりに取り組んでいる。	89人	51人	10人	1人	151人	3.51

【小学部に対する評価】

	評価項目	A(4点)	B(3点)	C(2点)	D(1点)	回答合計	評価点
目標1	身近な人に挨拶をしたり、自分の気持ちを伝えたりする力を身に付けることができた。						
目標達成に向けた取組	①場に応じた挨拶ができるようにするための働きかけや支援の工夫を行った。	37人	4人	0人	0人	41人	3.90
	②感謝や依頼など、自分の気持ちを伝えたり、友達とやりとりしたりする場を意図的に設けて指導した。	37人	4人	0人	0人	41人	3.90
目標2	日常生活に必要な基本的な生活習慣や生活動作を身に付けることができた。						
目標達成に向けた取組	③食事や排泄、衣服の着脱などの技能を高めるための支援を工夫した。	31人	9人	1人	0人	41人	3.73
	④学習や給食などの準備や片付けの場面を、意図的に設けて指導した。	36人	4人	1人	0人	41人	3.85
	⑤掃除や整理整頓の技能を身に付けるための支援を工夫した。	34人	7人	0人	0人	41人	3.83
目標3	自分の仕事分かり、進んで取り組む力を身に付けることができた。						
目標達成に向けた取組	⑥児童一人一人の仕事を明確にし、その内容や方法を理解できるようにするための支援を工夫した。	35人	5人	1人	0人	41人	3.83
	⑦自己有用感を高めるための評価・称賛を工夫した。	32人	8人	1人	0人	41人	3.76

【中学部に対する評価】

	評価項目	A(4点)	B(3点)	C(2点)	D(1点)	回答合計	評価点
目標1	集団生活で必要とされるルールやマナー、コミュニケーションスキルを身に付けることができた。						
目標達成に向けた取組	①挨拶や年齢に応じた人との関わり方を学ぶ場を計画的に設定した。	31人	8人	0人	0人	39人	3.79
	②話の聞き方や意思表示の仕方、依頼や報告の仕方を段階的に指導した。	31人	8人	0人	0人	39人	3.79
	③時間やルールを意識できるようにするための視覚支援や指導場面を工夫した。	32人	7人	0人	0人	39人	3.82
目標2	日常生活を営み社会参加を目指すための基礎となる知識や技能を身に付けることができた。						
目標達成に向けた取組	④身辺処理や身だしなみ、整理整頓に関する的確な実態把握と、それに基づく日常的な指導を行った。	27人	12人	0人	0人	39人	3.69
	⑤買い物や交通機関、各種施設の利用等に関する技能を体験的に学ぶ場を設定し、段階的に指導した。	27人	12人	0人	0人	39人	3.69
目標3	自分の役割を自覚し、責任をもって仕事をやり遂げる力を身に付けることができた。						
目標達成に向けた取組	⑥社会自立に向けた進路学習や様々な場面での役割を設定した。	28人	11人	0人	0人	39人	3.72
	⑦見通しがもてるようにするための視覚支援や、自分が役に立っていることを実感できよう振り返りの場を工夫した。	28人	11人	0人	0人	39人	3.72

【高等部に対する評価】

	評価項目	A(4点)	B(3点)	C(2点)	D(1点)	回答合計	評価点
目標1	社会におけるルール・マナー、コミュニケーションスキルを身に付けることができた。						
目標達成に向けた取組	①A・Bコース:職員は、集団生活に必要なルール・マナーやコミュニケーションスキルを、体験を通して計画的に学ぶ場を設定し、繰り返し指導している。	34人	22人	1人	0人	57人	3.58
	②Cコース:職員は、様々な場面を想定したルール・マナーやコミュニケーションの実践的な指導を、授業や日常生活の指導の中で行っている。	6人	0人	0人	0人	6人	4.00
目標2	地域の中で生活できる力を身に付けることができた。						
目標達成に向けた取組	③A・Bコース:職員は、この課題に則した、具体物を用いての文字や言葉、数や形の指導を行っている。	29人	26人	2人	0人	57人	3.47
	④Cコース:職員は、読み・書き・計算、一般常識の指導において、実社会とのつながりを考慮した場の設定や、教材・教具の工夫を行った。	5人	1人	0人	0人	6人	3.83
	⑤A・Bコース:職員は、日常生活の中で実践できるようにするため、衣・食・住に関する基本的な内容を繰り返し指導している。	33人	23人	1人	0人	57人	3.56
	⑥Cコース:職員は、衣・食・住に関する実践的な力を身に付けるための学習活動の工夫をしている。	5人	1人	0人	0人	6人	
目標3	やりがいをもって、働き続ける力を身に付けることができた。						
目標達成に向けた取組	⑦すべてのコース:職員は、お子さん自身が課題を意識できる目標設定を行っている。	43人	19人	1人	0人	63人	3.67
	⑧A・Bコース:職員は、成果が分かりやすく、限られた時間内で仕事を続けられるような作業内容や支援の工夫を行っている。	34人	22人	1人	0人	57人	3.58
	⑨Cコース:職員は、やりがいを実感できる場の設定や活動内容と評価の工夫を行っている。	5人	1人	0人	0人	6人	3.83

【寄宿舎に対する評価】

	評価項目	A(4点)	B(3点)	C(2点)	D(1点)	回答合計	評価点
目標1	集団におけるルールやマナーを身に付けることができた。						
目標達成に向けた取組	①挨拶の場を明確にし、繰り返し指導した。	41人	13人	0人	0人	54人	3.76
	②人と話すときの適切な距離や言葉遣いに関して機会を捉えて指導した。	39人	15人	0人	0人	54人	3.72
	③共同生活におけるマナーや身だしなみの定着に向けて支援した。	44人	10人	0人	0人	54人	3.81
目標2	将来の生活に必要な技能を身に付けることができた。						
目標達成に向けた取組	④起床、洗面、着脱、食事、排泄、入浴、就寝等の個々の課題に応じた指導方法を工夫した。	38人	16人	0人	0人	54人	3.70
目標3	健康で規則正しい生活を送る力を身に付けることができた。						
目標達成に向けた取組	⑤規則正しい生活の習慣化に向けた支援の工夫と保護者との連携を行った。	43人	11人	0人	0人	54人	3.80
	⑥一人一人の余暇活動の幅を広げたり深めたりするための活動を提示した。	32人	19人	1人	1人	53人	3.55
	⑦運動する場を設定した。	36人	17人	0人	0人	53人	3.68

保護者の皆様のご意見を受け、改善すべき点は、できることから既に始めております。また、次年度も継続して実践してまいります。

次年度も行事や学習参観の機会に学校や寄宿舎へ足を運びいただき、お子さんの活躍する姿や教職員の指導、支援の様子をご覧ください。そして、お気づきの点がございましたら随時お話を聞かせてくださいますよう、お願い申し上げます。